

20年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数				駆除日数	重点海域の状況
			20年度	19年度	18年度	17年度		
奄美市	名瀬地区	大浜周辺	10	2,996	4,874	140		昨年度まで大量発生していたオニヒトデは全く見られず、食痕もない。礁斜面は壊滅状態だが、礁原部に小型のモリイシが残る。
		崎原		19	303	0		オニヒトデは殆ど見られず、健全なサンゴ群落が残っている。
	笠利地区	用安	763	1,424	982	352		オニヒトデは全く見られない。
		節田		77	852	427		
		赤木名		—	—	—		サイズが小さく数も少ない。駆除の後半は、殆ど見られなくなった。
住用地区	トビラ島～市崎	171	305	—	—		小さい個体が多く、数も少ない。	
大和村		ヒエン浜	631	1,149	6,457	—		オニヒトデの数も減り、サイズも小さくなっている。箇所によっては、回復の兆しも見えている。
宇検村		屋鈍	447	94	239	80		4割から5割のサンゴが生存している。
		アヨ崎		24	—	—		約7割程度のサンゴが死滅している。
		平田		179	38	—		約7割程度のサンゴが生存している。
		クラキ崎		71	—	—		約6割のサンゴが死滅している。
瀬戸内町		安脚場・黒崎	195	3,001	3,077	9,266		
龍郷町		宇天	173	108	28	—		ミドリイシ系、ハマサンゴ系など多種が見られる。
		戸口(アウン)		4,441	78	—		ミドリイシ系のサンゴが見られ、深いところは被度も高いが、オニヒトデも多い。
		戸口		162	167	—		白化現象後、復活したサンゴが見られる。生サンゴは、場所によっては70%近くになっている。
		龍郷湾コウトリ浜先		18	—	—		白化現象から多少ではあるが回復が見られる。
		龍郷湾倉崎地先		70	—	—		サンゴの被度も高く、キクメイシ系が多く見られた。
徳之島町		畦	146	379	744	764		レイシガイが枝サンゴに多く見られる。
天城町		ツインポイント	24	67	35	20		昨年度と比較し余り変化なし。被度15%程度。
伊仙町		面縄港東側	135	54	76	181		
		喜念崎		230	28	70		駆除を重ねるごとに、個体数も小さく、数も少なくなっている。
		佐弁		53	334	274		
		西伊仙		38	—	—		

20年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数				駆除日数	重点海域の状況
			20年度	19年度	18年度	17年度		
和泊町		美瀬	56	44	151	371		オニヒトデも減ってきているが、サンゴも減っている。
		南栄		13	37	77		レイシガイによる食害が目立った。一部白化も見られる。
		西原		0	0	0		レイシガイによる食害が目立った。ー
		笠石		2	ー	ー		全体的にサンゴが壊滅状態であるが、塊状のサンゴが所々生きている。
		出花		1	4	ー		台風で折れているサンゴが目立つ。
		イダシチ		0	ー	ー		台風で折れているサンゴが目立つ。
		ワンジョ		0	0	ー		最近是小魚が多く見られる。
		シナハ		14	56	ー		全体的にサンゴが少なくなっている。
知名町		屋子母	123	51	112	118		サンゴの白化少し見られる。
		屋者		48	27	62		サンゴの白化少し見られる。レイシ員が多い。
		余多		5	ー	ー		新たなサンゴの加入が見られる。
		沖泊		0	ー	ー		レイシガイが多い。
与論町		茶花沖(B&G)	81	18	18	100		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		赤崎南東		6	13	62		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		赤崎北東		4	15	54		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		百合が浜沖		12	11	43		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		湯浜沖		4	10	45		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
合計	0		2,955	15,181	18,766	12,506	0	

注:瀬戸内町は、ボランティアによる駆除、町単独事業等を含む。